



天正遣欧使節の栄光と悲劇を描くミュージカル「光る海」。再演となる今回は、OMURA室内合奏団の生演奏でお届けします。

芸術監督だより

### 「光る海」公演に寄せて

「天正遣欧少年使節」即ち約430年前、ローマへ行った4少年を題材にしたミュージカルは、私が知るだけで3つある。山崎正和作・ボブ佐久間音楽の「ローマを見た」、柴田南雄作曲・エドワード石田台本の「忘れられた少年」、そして、大村で創られた「光る海」だ。

天正10年（1582年）2月20日、ヴァリニヤーノ神父と共に長崎の港からローマを目指して旅立った4少年、中浦ジュリアン、伊東マンショ、千々石ミケル、原マルチノは8年の旅を終えて無事帰国するが、それからの人生は想像に絶するものがある。今回の「光る海」は3回目の公演となるが、殉教した中浦ジュリアンと棄教した千々石ミケルの友情と対立に焦点を絞って「生きる」ということを伏線に構成されている。大村在住の宮崎ヨーコさんの脚本に東京で活躍中の上田亨さんが作曲。もっとも、今回3回目の「光る海」は、全くの新作ではなく、ストーリーの大筋には変わりなく、また曲も全面的に新しくなっているわけではないが、大幅の改訂版といえようか。

ことに、OMURA室内合奏団との共演ということもあり、音楽劇風になるのでは、と期待している。出演者も「夢桜」の団員に加えて、プロの声楽家である横山浩平さんを中浦ジュリアンに、寿々木展子さんを大公妃に特別出演していただいている。

大河ドラマとしても成立する壮大なスケールの物語を約2時間にまとめ、しかもミュージカルという形で表現するにはかなりの無理もあるが、過去2回の公演が感動的に終了したことを思えば、今回はストーリーも音楽もさらに深くなっている。観る人により大きな

感動を与えるに違いない。

「私は少年の日、ローマに行った中浦ジュリアンです！」と最後のセリフを残し、高まる音楽と共に消えていくジュリアンを、滂沱と流れる涙で見送るのは私だけではないに違いない。

出来ることなら4少年の出身地、即ち中浦ジュリアンの西海市、千々石ミケルの雲仙市、伊東マンショの西都市、原マルチノの波佐見町でも上演したいものだ。その前に大村での3公演を満席にするよう努力しなくては！

村嶋 寿深子



（3月のハイライト公演 リハーサルの様子）

### 大村市市制施行70周年特別企画 天正遣欧使節ミュージカル「光る海」

日時

8月11日(土)①14時開演(13時30分開場) ②19時開演(18時30分開場)  
8月12日(日)③13時開演(12時30分開場)

会場

シーハットおおむら  
・さくらホール

●料金：大人2,000円、小中高生1,000円、親子券2,500円 ※当日各500円増

※未就学児入場不可。託児をご利用ください。／1名1,000円（乳児除く。公演1週間前までに電話予約）

●チケットのご予約・お問合せはシーハットおおむら事業部まで♪（tel.0957-20-7207）

## 光る海の魅力を紹介

ミュージカル演出部スタッフと合奏団団員が語る

# 「光る海」の見どころ・聴きどころ

作り手側と演奏家のそれぞれの視点から見た、今回の公演の見どころ・聴きどころ。まずは、ミュージカルの作者宮崎ヨーコさんに聞きました。



左：演出家の菊池さん  
中央：振付の大原さん  
右：作者兼演出補佐の宮崎ヨーコさん

### ●3月ハイライト公演の感想をお聞かせ下さい。

ハイライト公演という形にしては、お客様にストーリーをお分かり頂けたのではと、思っています。

### ●ご自身が特に力を入れているところは?

2008年に、郷土のロマン四少年物語として始まった、ミュージカル「光る海」ですが、初演は四人の友愛を、再演は、「信じる」という事、そして今回のパートⅢでは「生きる」という言葉が伏線になっています。「命の尊さ」はいつの時代も永遠のテーマですが、3. 11. 以来、身にしみて考えさせられる事が増えたからです。

今回のキャストやスタッフもそんな思いを込めて、追い詰められる信者を、ゴアや、ローマでたくましく生きる人々を、懸命に演じます。

そして、やはり主役は、福者ジュリアンと棄教者ミゲル。

再演「光る海」で、私はミゲルにこう言わせてしました。

「ジュリアン! 私は棄教する。だが、いつかきっと、おまえと私の道が交わる日がくる。最愛の友よさらばだ、その日迄!」と。

今回の舞台で、この言葉、そして年老いた二人の心を明らかにしたいと思っています。

### ●8月公演の聴きどころ、見どころを教えてください。

青年ジュリアンが、影響を受けるトスカーナ邸の美しく聰明なレディ‘マリー’、そして彼女と対極にいる貧しい流浪の姉妹‘カイとサラ’。彼女達の新曲が加わりました。ハイパリトンで歌い上げるジュリアンとのデュエットもお楽しみに。

### ●最後にパトロネージュ倶楽部会員のみなさまにメッセージをお願いします。

生オケミュージカル「光る海」!いつも、OMURA室内合奏団をお聞き頂いている皆様に、また違った合奏団の魅力をお届け出来ますように、お芝居、歌、ダンス、衣装、装置、照明 総力で頑張ります。お楽しみに。



稽古の様子



ハイライト公演出演者  
本公演ではさらにキャストが増え、  
衣装も華やかに!

続いて、合奏団団員が合奏団ファンのみなさまにだけお教えする、ミュージカルの楽しみ方です。

通常、オーケストラがオペラやミュージカルの伴奏をする際、われわれ楽員は「オーケストラ・ピット」なるステージ前方に開いた、深いお堀の中で演奏します。私が担当する打楽器セクションは(作品にもりますが)1発叩いたら次は30分後にもう1発、なんて作品も中にはございまして、そんな作品の上演中などは、舞台を眺めながら勝手気ままに演者さんを脳内寸評したり、暇そうな楽員を見つけてはくだらない談笑をしたり、時にはこっそりピットから抜け出してコーヒーブレイク・・・など、普段ステージではお見せ出来ないピット生活、もとい、穴ぐら生活をエンジョイしながら演奏している訳です。

しかし、この「光る海」では 幸か不幸か、舞台上で繰り広げられる物語はもちろん、われわれが奏でる音楽も、よりお客様に「観て」楽しんで頂くために、オーケストラ自体がステージ上で演奏することになりました。ちょっと隙を盗んでお茶する夢は叶わなくなりましたが、われわれ演奏家にとってみればステージこそが主戦場。歌手や役者さんと同じ目線で一緒に音楽を作れる喜びの方が、正直大きいのです。

前置きが長くなりましたが、大村の素晴らしい風土と歴史に彩られた舞台を、この夏、私たちOMURA室内合奏団の生演奏とともにお届けいたします。演者の歌や表情、その息遣いさえも手が届くほどの舞台から、3D映画などでは決して味わえない感動と興奮を、ぜひご体感ください。

穴ぐらからステージへと舞台を移したわれわれが、みなさまにとって「忘れられない夏」になることをお約束します。



打楽器・富田篤  
(写真はハイライト公演での演奏姿)



ハイライト公演での一コマ。  
演奏家も芝居を?/こんな楽しみ  
も役者のすぐ後ろで演奏する  
OMURAスタイルならではです。

## ラ・フォル・ジュルネ鳥栖2012 レポート

ゴールデンウィーク期間中の5月5日（土）松原勝也さんと弦楽器のメンバーでチャイコフスキイ作曲の弦楽六重奏曲「フィレンツェの思い出」を弦楽合奏版で演奏して参りました。

0才児から入場OKのコンサートで、お子様を連れた方が多数。中には大村から応援に来てくださった会員の方も！ありがとうございました。

レポートはヴァイオリンの中西 弾さんです。



みなさまこんにちは！ヴァイオリンの中西弾です。晴天に恵まれた中開催されたラ・フォル・ジュルネ鳥栖2012！いや～おいしかった!!あ、違う、楽しかったー!!そしてとても勉強になりました！

今年はロシアの音楽というテーマで、5月5、6日の2日間、様々なアーティストが鳥栖市民会館をはじめ、その周辺の各会場でロシアの音楽を演奏しまくりました。

地元の演奏家やロシアの演奏家が1つのエリアで過ごすというのはとても刺激的でしたが、個人的に刺激的で魅力的だったのが、会場の外に設けられた九州各地の料理が食べられる「九州グルメロード」でした。

僕は焼きカレーを食べました。とてもおいしかったですがやっぱり久留米ラーメンにすればよかったとけっこう後まで引きずりました…

それはいいとして、私たちOMURA室内合奏団は、チャイコフスキイ作曲の弦楽六重奏曲「フィレンツェの思い出」を弦楽合奏でお届けしました。

リハーサルは5月1～4日までの4日間、ゴールデンウィークの真っただ中、今回も松原さんのご指導のもとリハーサルを重ねる度にメンバーのアンサンブルの力が高まっていき、とてもエキサイティングでスリリングでした。



開演前のロビー。



演奏は小ホールで行いました。

松原さんにお会いする時は、休日のヒーローショーを楽しみに待つ子供のような気持ちになります。「フィレンツェの思い出」はとてもいい曲ですが、すごくアンサンブルが難しい曲で、ヒーローが「これを乗り越えたら実力が上がるよ」とおっしゃったので俄然やる気が出て毎回のリハーサルも気合が入りました。

本番のOMURA室内合奏団の演奏では0才の子から聴きに来ることが出来るということで、当日は小さい子がたくさん来てくれて賑やかでした。

真剣なステージと、気軽な雰囲気の会場とのギャップが何だかそれはそれで楽しかったです。そういう空間もラ・フォル・ジュルネならではだと思います。

小さい子にもOMURA室内合奏団の演奏を楽しみにしてもらえるようにこれからも団員みんなで力を合わせて頑張りますので今後とも変わらぬ応援よろしくお願ひします！

あ、ちなみにその日大村に戻ってから村嶋館長のお宅で反省会という名の飲み会があったのですが、メンバーの今まで聞いたことなかったようないろいろな話が聞けて楽しかったです（笑）

そういうのも演奏後の楽しみだったりします♪



演奏を終えて。応援に来てくれた松浦知佳さん、池田祐希さんも一緒に。

# 団員リレートーク ファゴット編

メンバーによるリレートークの第8回目は  
種口敬明さんがファゴットについてお話しします♪



## 種口敬明 (ファゴット)

皆さん、OMURA室内合奏団の演奏会に来て頂き、舞台をご覧ください。後ろのほぼ中央に、カツツミリの様に突き出た2本の茶色い角が見えますよ。それがファゴットです。分からなければ、1番眩しく感じる場所(人)をお探し下さい。そう、それです!! ファゴットは楓の木で出来ていて、木管楽器で1番低い音が出来ます。歌手でいうと、フランク永井さんですね。そして、3メートルもある長い管を二つに折り曲げた構造になっています。

プロレスでいうと、ジャイアント馬場のえび固めですね。

重さは3~4キロもあり、支えるのが大変なのに、10本の指をすべて使い操ります。左手の親指なんかは9個のキーを操作してるんだぜ~。どうだい、ワイルドだろ~? その音色はとても柔らかく、「とろけたバター」と表現され、滑らかに歌うようなメロディーは得意中の得意。どうだい、マイルドだろ~?

OMURA室内合奏団ではキムタクの様なイケメン奏者とAKBのあっちゃんの様な…間違えました、スーパーマリオの様なおじさんと、いつもニコニコ笑顔の女の子が演奏しています。どうぞ、2人のバター・トーンを聞きにいらしてくださいね。



### 演奏会情報

夏から秋にかけての合奏団の公演情報です♪

8月

シーハット・ミュージック・フェスタ2012  
期間: 8月22日(水)~25日(土) 会場: シーハットおおむら

#### ♪ファイナル・ガラ・コンサート

3才から入場可のコンサートです。

期間: 8月25日(土) 19時開演

開場: シーハットおおむら・さくらホール

料金 全席自由・前売り 大人1,000円  
(当日500円増)

3才~高校生  
無料

●指揮: 松原勝也

●出演: OMURA 室内合奏団アンサンブル、ジュニアオーケストラ

9月

### OMURA室内合奏団「武雄演奏会」

期間: 9月23日(日) 15時開演

開場: 武雄市文化会館

料金 大人1,000円 高校生以下 500円

●出演: OMURA 室内合奏団 合唱団やまびこ



♪長崎県新人演奏会40周年記念

### OMURA室内合奏団&輝ける星達

期間: 10月13日(土) 14時開演

開場: シーハットおおむら・さくらホール

料金 全席自由・前売り  
大人2,000円 小中高生1,000円 (当日500円増)

※未就学児入場不可。託児をご利用ください。/1名1,000円  
(乳児除く。公演1週間前までに電話予約)

●指揮: 橋本剛 出演: OMURA 室内合奏団、新人演奏家

#### ♪上海クアルテット

#### 結成30周年記念日本ツアー[大村公演]

期間: 10月27日(土) 14時開演

開場: シーハットおおむら・さくらホール

料金 全席指定・前売り  
大人3,000円 小中高生1,000円(当日各500円増)

※未就学児入場不可。託児をご利用ください。/1名1,000円  
(乳児除く。公演1週間前までに電話予約)

●共演: 原田禎夫、OMURA 室内合奏団弦楽アンサンブル

### パトロネージュの皆様のご意見・ご質問を募集しています

◎OMURA室内合奏団団員へのご質問

◎パトロネージュ通信へのご意見 ◎音楽や楽器の気になる疑問!!

◎「パトロネージュ会員さんこんにちは♪」コーナーへのご連絡など

などなど、OMURA室内合奏団に関するご感想やご意見、ご質問を募集しております。

宛 先 〒856-0836 大村市幸町25-33

シーハットおおむら内「パトロネージュ通信」係

メール omurapatron@gmail.com

団員一同、お待ちしております♪

### 編集後記

◎かき氷の美味しい季節になりました!かき氷いちご味のアイスのせを食べるしあわせな気分になります♪美味しいかき氷のお店があったら教えてください(●▽●)  
(編集長 いけっち)

◎雨だけれどショパンの調べ…と優雅なのは、湿度が低いお国の話。こうもジメジメ蒸すと、リードはカビるし楽器は抜けないし(本当の話)、早く夏がきてほしいと願う毎日です。雨ではなく、梅雨を題材にした曲なんであるんでしょうか。聴いてみたいものです。  
(副編集長yoshimi yamada)

◎光る海公演直前の今。受験生のように、四少年にまつわる書籍を読んでいます。台本も頂いたのですが、予備知識があると世界(妄想)がぐあ～んと広がりますね。8月から芸術の秋まで合奏団の公演が色とりどりにお楽しみ頂けます。ぜひ大村においてくださいませ。  
(事務局 ま)

OMURA室内合奏団の最新情報♪ <http://ocenagasaki.blog25.fc2.com/>